

報道関係各位

2012年9月3日
慶應義塾大学 SFC 研究所

慶應義塾大学 SFC 研究所主催
第3回ケータイ未来コンテスト開催！
全国の一般児童・生徒・学生を対象に！

慶應義塾大学 SFC 研究所(所在:慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス/所長:金子郁容)は、昨年に引き続き、ケータイ未来コンテストを開催します。今年3回目となる同コンテストは、スマートフォンを使って未来の情報社会をより明るく、楽しく、易しくする作品やそのアイデアを全国の小学生から大学院生までの児童・生徒・学生から募集します。募集期間は2012年9月1日~30日までの1カ月で、ケータイ未来コンテストのウェブサイト(<http://sdc.sfc.keio.ac.jp/>)から応募ができます。10月の第一次審査を経て、最終審査に進む作品は11月22日、23日の両日に東京ミッドタウンで開催される「慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2012」で紹介され、23日に同フォーラム内で最終審査会と表彰を行います。

募集部門は先端作品部門・未来創造部門・ネーミング部門の全3部門で、各部門から最優秀賞(賞金と副賞)1作品と、審査員特別賞(副賞)最大1作品を選出します。先端作品部門はソフトウェアとポスターでの募集、未来創造部門はアイデアを記述したポスターでの募集、ネーミング部門は「スマホ、ケータイ」に変わる未来の賢いデバイスの名称とその説明文での募集となっています。

ケータイ未来コンテスト委員長である徳田英幸 慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科委員長は、「未来のデジタルメディアは、新しい世代の人たちによって創り出されてきています。従来インターネットは、あらゆるモノをつなげるインターネットへと進化し、モバイル機器もより強力なスマートフォンやパッド系の新しいかたちに発展してきています。さらに、Facebook や Twitter などの新しいソーシャルメディアの浸透と既存メディアとの融合は、メディアのかたちを大きく変えてきています。これからの社会を担う若い方々が潜在的にもっているクリエイティビティを、このケータイ未来コンテストで大いに発揮して頂ければと思っています。」と本コンテストの開催目的と一般の児童・生徒・学生からの多くの応募への期待を語っています。

第3回ケータイ未来コンテスト

応募資格 : 児童・生徒・学生(小・中・高校生、専門学校生、大学・大学院生など)

募集部門 : 先端作品部門、未来創造部門、ネーミング部門

募集期間 : 2012年9月1日(土)~30日(日)

応募方法 : ケータイ未来コンテストウェブサイトよりご応募ください。(<http://sdc.sfc.keio.ac.jp/>)

協賛企業 : ソフトバンクモバイル株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ、KDDI 株式会社

SFC Open Research Forum 2012 「知のbazaar」

会期 : 2012年11月22日(木)、23日(金・祝) 入場無料

会場 : 東京ミッドタウン ホール&カンファレンス

公式ウェブサイト : <http://orf.sfc.keio.ac.jp/>

主催 : 慶應義塾大学 SFC 研究所

本件に関する報道関係からのお問い合わせ

慶應義塾大学 SFC 研究所ケータイ未来コンテスト事務局 担当: 鈴木、桐生、永井

TEL: 0466-49-3436 e-mail: sdc@sfc.keio.ac.jp

《前回の入賞作品紹介》

engraph ソーシャル時代の全く新しい電話帳

◇ 時代遅れで使いづらい電話帳を刷新する

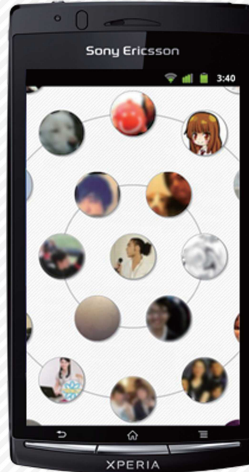
スマートフォンをお持ちの皆さん、いままぐ端末の電話帳を開いてみてください。友人や知人の名前が五十音順のリスト形式に並んでいて、それぞれに電話番号とメールアドレスなどが登録されていますね。しかしこれ、旧世代の電話と見た目も機能も全く変わっていないことに気づきましたでしょうか？ 今や友達とのコミュニケーションは電話やメールではなくSNSで行うことがほとんど。それなのに電話やメールだけしか載っておらず、すべて手作業で管理するしかない今の電話帳は非常に不便です。また、五十音リスト形式のUIは、友達を探し出すのに苦労する場合があります。またタッチパネルで操作するスマートフォンに最適なものとは言えません。

◇ SNS統合。そして友達と直ぐに繋がれる斬新なUI

engraphは、1次元のリスト形式を廃止して2次元のマップ形式を採用しました。このフレンドマップの中心にはあなたが配置されます。そして、engraphが自動的にあなたと親しい友人を導き出し、あなたの近くに配置します。これにより、より早く簡単に友人と繋がれるようになります。友達のアイコンをクリックすると、可能な連絡手段がグラフィカルに表示されます。ここから、電話やメール、Twitterでのリプライ、DM、Facebookのウォールに書きこむなど、多彩な連絡手段を同時に選ぶことが出来ます。

◇ 全てのコミュニケーションの始まりとなる

engraphの更に詳しい情報は、<http://engraph.net> で公開しています。ぜひご覧ください。



企画・制作：慶應義塾高等学校 3年 高橋俊成 (@selbe17)
公式WEB：<http://engraph.net> Twitter：@engraph_tan

先端作品部門 最優秀賞作品

「engraph」

(高校生) 高橋俊成君

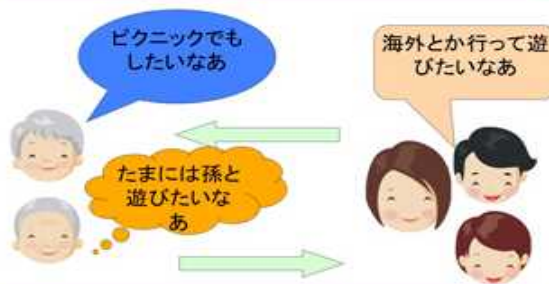


未来創造部門 最優秀賞作品

「セーターでんわ」

(小学生) 小林如晏君

以心伝心[心が繋がる]ケータイ



これは、何か伝えたいことがあったら会わずとも携帯電話やパソコンが気持ちを察知してその思いを伝えたい人の持っている携帯電話やパソコンに送ってくれるという物です。例えば、上の図のように孫の家族は「海外へ行って遊びたい」と、おじいちゃんとおばあちゃんの方は「孫たちと遊びたい」と思っていたとする。そんな時は、孫の家族へおじいちゃんたちの「孫たちと遊びたい」というメッセージを、おじいちゃんたちには「海外に行って遊びたい」というメッセージをそれぞれに伝えてもらえるのです。離れて暮らしている家庭に最適だと思います。これを使って、安否確認や暗い気持ちになっていないのかということも伝えられます。

未来創造部門 審査員特別賞

「以心伝心[心が繋がる]ケータイ」

(中学生) 緒方瑛君